

3年生タイム活動案

平成27年7月1日(水)

対象児童 3年生7名

(1) テーマ

スライムを作ろう！知ろう！

(2) 活動のねらい

スライム作りを通して理科に興味を持つ。

スライムにはどのような性質があるか理解する。

(3) 備物

ホウ砂、PVA合成洗濯のり、絵の具、割りばし、プラコップ、水、ビニール手袋、食塩、砂糖、酢、袋(持って帰るよう)

(4) 展開

時間 (45分)	児童の活動	指導者の支援
導入 5分	○学生の話聞いて、授業の流れを理解する。	
展開① 15分	○学生の指示に従いながら、スライムを作る。 ①水を入れる ②のりを入れる ③ホウ砂水を入れる ④混ぜる ○できたスライムを触ってみる。 ○ストローで膨らませてみる(?)	●ホウ砂、洗濯のりが目や口に入らないように管理する。また、もし口や目に入ってしまった場合は水で流すなどの対応をする。 ●児童が楽しみにしている活動のため、興奮してあたりをうろついたり、スライムを投げるなどの行為が起こる可能性がある。事前にルールを決めておくとともに、学生がきちんと見ておく。
展開② 20分	○食塩、砂糖、酢を入れるとスライムがどうなってしまうのか、予想し、発表する。 ○学生の実験の様子を見る。 ○実験の結果をまとめる。	●黒板に予想と結果をまとめる。 ●人の話、意見を聞くときは静かになってから聞くようにする。
まとめ 5分	○学生のまとめの話を聞く。	●作ったスライムは持って帰ってもいいことを伝える

※スライムを作るとき、遊ぶ時の注意事項

- ①ホウ砂、スライムは口に入れない。目に入った場合はすぐに水で洗い流す。
- ②人に向かってスライムを投げない。
- ③遊んだあとは手をきれいに洗う。
- ④捨てるときはプラゴミとして捨てる。

[活動を終えての感想（成果及び課題）]

3年生が1番楽しみにしてくれていただけあって、みんな興味津々で参加してくれました。

スライムを作る時間をなるべく短くするために、洗濯のりと水は最初から混ぜた状態で児童に渡しましたが、結果として予定していた内容を、予定していた時間で終わらせることができたので、よかったのではないかと思います。また、できたスライムを袋に入れて下校まで学生が預かっておくことで、その後の活動にも児童が集中して取り組めるようにできたと思います。

児童の様子ですが、スライム作りの時も、実験の時もよく手を挙げて発表してくれていました。その際に当てられる前に答えてしまう児童や、だんだん椅子に座る姿勢が悪くなる児童が見られたので、今後は活動前にそのあたりのルールを徹底していかなくてはならないと反省しています。

また、実験としてスライムに酢、塩、砂糖を入れましたが、塩の入れる量が少なかったため、塩と砂糖の結果の違いが分かりにくくなってしまいました。スライムは今後もやると思うので、その時には塩を多めに入れるように気を付けたいと思います。